

おおむた 市議会だより

第213号

令和2年度
臨時会・6月議会

令和2年(2020年)8月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年間分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



大正小学校 大正フラワータウンプロジェクト

【主な記事】

- ◎議場等での新型コロナウイルス感染症対策の取組／ぎかいの話題(2ページ)
- ◎令和元年度における議会改革の検証／ぎかいの話題(3ページ)
- ◎議会改革度ランキング3年連続県内トップ！／トピックス(11ページ)
- ◎災害やコロナに負けるな、おおむたっ子／おおむた自慢(12ページ)

このたびの令和2年7月豪雨災害によって亡くなられた方々
のご冥福をお祈りするとともに被災された方々に心からの
お見舞いを申し上げます

ぎかいの話題

議場等での新型コロナウイルス感染症の 対策に取り組みました

大牟田市議会では5月の臨時会、6月の定例会において、議場等での新型コロナウイルス感染症対策に取り組みました。

議場内の環境では、密閉空間を避け換気をよくするため、傍聴席の扉や議場内の窓を開放したほか、入場時にはアルコール消毒液による手指消毒を行いました。

マスクについては基本的には着用としましたが、質問に立つ議員の席が周囲から2メートル以上離れていることや熱中症予防の観点などから一時的に外すなどの対応を各自で体調管理しながら行いました。

また、通常は質疑質問の際には、市長や副市長等の特別職、各部局の部長等が約30人出席しますが、今回は市長、副市長に加え質疑質問に関係する部局のみの出席とし、密を避けました。質問内容についても特に新型コロナウイルス感染症に関する項目などは重複を避け、会議時間の短縮を図りました。

今回の経験を生かし自然災害発生も含め緊急事態時の議会運営の在り方についても検討していきます。



(密を避け出席者を減らした本会議)

感染症対策に向けて 議員報酬10パーセント削減 議会視察費返上

感染症の拡大防止と早急な終息に向け力を合わせて取り組む中で、市議会議員として本来の役割に加え何らかの支援を行うべきと判断し、市の感染症対策に係る財源の一助になればとの思いで議員報酬を10パーセント削減する議案を提出し、5月の臨時会にて全会一致で可決しました。

さらに、令和2年度の議会視察費等の旅費を返上する申し入れを市長に行いました。

これにより生じる財源を懸命かつ献身的に感染症対策に携わっておられる医療従事者への支援に活用されるよう強く望んだものです。

令和2年度議会報告会について

昨年度で9回目となった議会報告会は、開催までに多くの地域役員の皆様、関係者の皆様に支えられており、改めて、感謝申し上げます。

今年度の議会報告会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年と同じスタイルでの開催は困難な状況だと判断しています。

一方、市民の皆様との意見交換や情報の共有など、議員が直接出向いて様々な御意見を聞くこと

は、大変重要であると考えています。そこで、今年度中に何らかの形でそのような場を設定できないかと検討を行っているところです。

これからの新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で、令和2年度議会報告会に代わる機会を持ちたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

インフォメーション

■次の定例会は9月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年間分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで9月上旬から閲覧できる会議録を御覧ください。

ホームページでも9月上旬から閲覧・検索できます。

令和元年度における議会改革の検証

大牟田市議会では二代表制の下、市民と共に考え行動する地方分権の時代にふさわしい議会のあるべき姿を念頭に置き、平成22年12月に議会基本条例を制定しました。

この条例では議会機能の充実・強化により、市民の福祉の向上を図ることを基本とした豊かなまちづくりを目指すことを目的としています。

また毎年、この条例に沿った取組を行えているか等、検証して次年度の活動に生かしています。

第1章 総則

議会機能の充実・強化に向けて様々な取組を行い一定の前進ができました。

一例としては、子育て支援や相談機能を一体的に推進していく総合窓口について保健所の設置主体変更に伴う大牟田市保健センターの整備にあわせて設置するよう予算特別委員会で取り上げ、議会の総意として市長に要望しました。

第2章 議会及び議員の活動原則等

議会改革に関する先進自治体の取組について、様々な事例の情報収集等に努め、兵庫



(南あわじ市議会視察)

県南あわじ市議会を調査・視察し参考としました。

第3章 会議運営の原則

定例会及び予算・決算特別委員会における映像配信では、令和元年度から、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも視聴出来るよう改善。また、市議会だよりにQRコードを掲載し発言した議員の映像とリンクさせ、より手軽に視聴できるよう環境を整えました。

また総務委員会では、市庁舎整備に関して、委員会からの申し出による当局との勉強会や委員間討議を積極的に行いました。

第4章 市民との関係

議会報告会の運営自体は円滑に行われているが参加者数が多いとは言えず年齢も偏っていることなどが課題となっている。一方でアンケート調査では初めて参加された方が60名を数えていることから、今後も多くの市民に対しての周知継続が重要です。

また、市内の小学校が政治への疑問やまちの課題について学ぶため、市議会議場で行った校外学習に積極的に協力。将来を担う子どもたちと直接対話することができるよい機会となりました。

第5章 市長等との関係

大牟田市まちづくり総合プラン、アクションプログラム案、人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略、教育の振興に関する大綱の策定に当たっては、計画案が提出されるなど論議可能な資料が提出されました。

第6章 議会の体制整備

議会研修会は介護予防をテーマに開催し、市の新規事業である「さるかんば事業」に対する理解を深める契機とし資質向上に取り組みました。

また、議会図書室は設置場所の見直しを行うとともにパソコンを設置するなど機能充実に努めました。

第7章 政治倫理、議員定数及び議員報酬

議員の改選期に当たり全議員を対象に政治倫理条例の周知を図るとともに1期目の議員には研修会を開催するなどして公職にある議員としての倫理の確立に努めました。

第8章 最高規範性その他の条例との関係及び見直し手続等

市議会基本条例を制定し10年となることから、その間の取組等を検証・総括するため作業部会を設置しました。

議会改革の検証については市議会ホームページに詳しく掲載しています。右のQRコードで御覧ください。



ぎかいの話題

本会議運営のあらまし

■新型コロナウイルス感染症対策への対応

臨時会

令和2年度臨時会は、5月1日に招集され、1日間の会期で運営しました。

本臨時会では、国や福岡県で予定している様々な支援策を念頭に、本市として緊急的に取り組む必要がある経費について、審議した議案4件、感染症対策に向けた市長をはじめ特別職の給与を減額する条例案2件、議員提出議案1件を全て全会一致で可決して、本会議を閉会しました。

■大牟田市一般会計補正予算などを可決

6月議会

令和2年度6月議会は、6月8日に招集され、6月19日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、12億679万9千円を追加する一般会計補正予算議案3件、専決処分の議案5件、条例議案8件、財産の取得などの議案3件、農業委員会委員の任命などの人事案件10件、意見書案の3件及び予算の繰越しに関する報告など8件の計40件でした。

本会議では、新型コロナウイルス感染症対策を中心に、事業者支援及び学校への影響と対策、動物園条例の改正、市庁舎整備など諸課題について、11人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、それぞれ承認、可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌(4月～6月)

【4月】

- 14日 広報広聴委員会広報部会
- 21日 総務委員会、各派代表者会
- 24日 議会運営委員会
- 28日 各派代表者会、議会運営委員会

【5月】

- 1日 第1回臨時会本会議、議会運営委員会、総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 13日 広報広聴委員会広聴部会
- 26日 各派代表者会

【6月】

- 1日 各派代表者会、議会運営委員会
- 4日 総務委員会
- 5日 市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会、各派代表者会
- 8日 第2回定例会本会議〔開会〕、広報広聴委員会広報部会
- 12日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕
- 15日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕
- 16日 第2回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
- 17日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
- 19日 各派代表者会、議会運営委員会、第2回定例会本会議〔採決、閉会〕、広報広聴委員会広報部会



委員会メモ



特別定額給付金

【総務委員会】

6月4日の委員会で、特別定額給付金の申請状況及び給付の予定等について説明を受けました。

申請期限は8月18日（火）までとなっており、郵送申請だけではなく、申請窓口においても申請ができます。

また、申請から給付までの所要期間は約2週間程度となっています。

学校教育のICT化

【市民教育厚生委員会】

6月5日の委員会で、新型コロナウイルス感染症対策として国のGIGAスクール構想が今年度中に前倒しして実施されるため、本市でも小・中・特別支援学校の通信ネットワーク及び端末等の整備を行う旨の説明を受けました。

今年度末までに、小・中学生全員分のタブレット端末や各教室分の大型提示装置などが整備される予定です。

動物園条例の一部を改正する条例

【都市環境経済委員会】

6月5日の委員会で、大牟田市動物園について「ともだちや絵本美術館」を動物園の施設として位置付けること、また入園料の徴収区分の見直し及び入園料の額を改定する旨の説明を受けました。

これを受け、ともだちや絵本美術館の行う事業、料金区分及び入園料等について質疑を交わしました。

議案等の審議結果

議案等名			会派等名		議員名										議案等名										賛成数		審議結果	
					自民・未来クラブ										公明党議員団					社民・国民民主・護憲クラブ								無所属
			徳永春男	江上しほり	桑原誠	境公司（議長）	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂	森遵	森竜子	山口雅夫	三宅智加子	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	北岡あや	崎山恵子	山田貴正		
6月議会	議案第16号	大牟田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第17号	大牟田市動物園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第19号	大牟田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決
	議案第20号	大牟田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を × と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意

臨時会	議案第 1 号	令和 2 年度大牟田市一般会計補正予算
	議案第 2 号	令和 2 年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
	議案第 3 号	大牟田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 4 号	大牟田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 5 号	大牟田市市長等の給与の特例に関する条例の制定について
	議案第 6 号	大牟田市企業管理者の給与の特例に関する条例の制定について
6月議会	発議第 1 号	大牟田市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について
	議案第 7 号	専決処分について（令和元年度大牟田市一般会計補正予算）
	議案第 8 号	専決処分について（大牟田市単純な労務に従事する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）
	議案第 9 号	専決処分について（大牟田市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例）
	議案第 10 号	専決処分について（大牟田市市税条例の一部を改正する条例）
	議案第 11 号	専決処分について（大牟田市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例）
	議案第 12 号	令和 2 年度大牟田市一般会計補正予算
	議案第 13 号	令和 2 年度大牟田市水道事業会計補正予算
	議案第 14 号	令和 2 年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
	議案第 15 号	大牟田市消防応援基金条例の制定について
	議案第 18 号	大牟田市地域改善対策専修学校等技能習得資金の返還債務の免除に関する条例を廃止する条例の制定について
	議案第 21 号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 22 号	大牟田市建築物における駐車施設の付置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第 23 号	財産の取得について（災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD－I 型））
	議案第 24 号	財産の取得について（消防ポンプ自動車（CD－I 型） 2 台）
	議案第 25 号	過疎地域自立促進計画の変更について
	議案第 26 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔池端祥久氏〕
	議案第 27 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔石橋祐一氏〕
	議案第 28 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔伊藤照子氏〕
	議案第 29 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔内野和幸氏〕
	議案第 30 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔梅野節子氏〕
	議案第 31 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔古賀正廣氏〕
	議案第 32 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔鳥越孝広氏〕
	議案第 33 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔中島照章氏〕
	議案第 34 号	大牟田市農業委員会委員の任命について〔藤原優子氏〕
	議案第 35 号	大牟田市固定資産評価員の選任について〔吉田尚幸氏〕
	発議第 2 号	地方財政の充実・強化を求める意見書案
	発議第 3 号	教職員定数改善と教育予算の拡充を求める意見書案
	発議第 4 号	新型コロナウイルス感染症の影響によって減収した医療・介護機関の財政支援を求める意見書案

■スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

配信システムの変更ににより、以前のパソコンによる視聴だけではなく、スマートフォンやタブレット等からも視聴できるようになりました。

どうぞご利用ください。



大牟田市議会インターネット議会中継

代表質問

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります

新型コロナウイルス感染防止と社会活動の両立を



動画視聴



自民・未来クラブ
森 遵 議員

市民の皆さんが1日も早く
経済・教育・地域活動を
取り戻すのを支えよ

問 適切な感染防止対策を取りながら、市民の皆さんが1日も早く経済・教育・地域活動の日常を取り戻すために支えることも私たちの大切な使命である。

感染防止と社会活動の両立に向けた市長の見解は。

答 感染拡大防止対策と社会経済活動の両立の観点から、大きく四つの追加支援策を予算計上し、新しい生活様式へとつながる取組を推進する。

再発言 両立と同時に、コロナがもたらす新しい社会の在り方や変革を先取りし、市政に生かして欲しい。

医療体制と検査体制の充実を

問 感染防止と社会活動の両立の鍵は、医療崩壊を防ぐこととそのための検査の充実と思うが、本市の状況は。

答 医療体制については、県及び県医師会を中心に感染症指定医療機関、帰国者・接触者外来設置医療機関、新型コロナウイルス感染症に対応可

能な医療機関、軽症者や無症状者対応の宿泊施設などの受入体制が取られている。

検査については、保健所を通じた検査とかかりつけ

医が必要と判断した場合に行われるものの二つの流れがある。いずれも、医師の判断により、検査が行われる。

再発言 病院や高齢者施設については、クラスターが起きれば大変である。専門家と相談して、今後の検査体制について議論されたい。

経済・産業施策への
影響と対応

問 自粛要請の影響による経済的な疲弊への取組は。

答 本市の対策としては、県の休業要請に御協力いただいた事業者等への支援、飲食店等への家賃支援を実施している。

また、追加対策としてプレミアム付商品券発行事業への支援、店舗等への感染予防につながる衛生用品等の購入費用への支援等を予定している。

問 生産体制の再構築やオンライン活用の加速化など企業行動の変化についての対応は。

答 企業動向の情報把握に努め、企業ニーズに沿った支援制度を検討し、積極的に情報関連産業や研究開発型企業の誘致を進めたい。

学校教育への影響と対応

問 臨時休業分の遅れを取り戻す日数確保などは十分か。

答 夏季休業の短縮により、現段階では確保できている。

運動会等の行事も、安全な実施に向けて検討している。

問 全小中学生分のタブレット整備の決断に感謝する。タブレットの利用方法や先生への研修についての対策は。



答 教師と子ども、子ども同士での双方向の学習展開が可能なうえ、デジタル教科書・学習動画の活用により、教科内容の理解が深まる。

教職員の研修については、メーカーによる研修会や現在利用しているヘルプデスク人材の派遣などを考えている。

再発言 自宅での活用により、学力の底上げにつながるのではないかと。特に立ち上げ時の研修やコンテンツの中身の充実に力を入れてほしい。

問 スポーツ・文化を問わず、各種大会等、特に最終学年の子どもたちにできる限り成果を発揮する場をつくるための支援が必要と思うがどうか。

答 生徒の心情を踏まえ、各部活動の意義や目的に照らし、中止となった大会の代替の大会が開催されるよう支援していきたい。

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります 代表質問

「明日のおおむた」に向けた事業の展開を



2020 年度当初予算や アクションプログラム における特色的な事業

問 今後 4 年間の市長の手腕をはかる第一歩が、第 6 次総合計画のアクションプログラムや 2020 年度予算だと思ふ。
市長としての 2020 年度当初予算や第 6 次総合計画アクションプログラムにおける特色的な事業を聞きたい。

答 「若者が夢を持って働くまちづくり」においては、製造業等をはじめ多様な産業の誘致を図るための取組、「子育て世代に魅力的なまちづくり」においては、安心して子育てができる環境づくりの取組、「安心して元気に暮らせるまちづくり」においては、高齢者にいつまでも元気で自立した日常生活を継続していただくための取組など、三つのまちづくりに向けた施策をできる限り反映している。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業の開始が遅れているが、感染状況を十分注視しながら事業の進捗を図っていく。

再発言 今後も厳しい行財政状況であると思うが、市長を

先頭に、住んでよかった、住みたいまち、明日の大牟田づくりと、みんなが笑顔で安心して働き、豊かな生活を送ることができる「ふるさと

とおおむた」に向けて、取組を推進するよう要望する。

新型コロナウイルス感染症 対策の現状と課題

問 市長においては、これからも安全・安心のまちづくり、市民が安心して元気に暮らせるまちづくり、市民に信頼されるまちづくりに向けての市政運営と、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済対策などの取組をしっかりと取り組んでもらいたいと思う。

新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題について聞きたい。

答 現在、感染拡大防止や市民生活、事業活動などの様々な支援策について全力で取り組んでいる。

今後は、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、市民の生活を守ること、事業者の事業継続や雇用を守ることが最も重要であり、緊急対策と併せ、新しい生活様式へつながる取組の推進を図る。

今後とも、安全・安心で安定した生活を一日でも早く取り戻せるよう、市民や事業者とも理解と協力を得ながら精

いっぱい取り組んでいく。

感染症対策を含めた 今後の避難所運営

問 本市も、5 月 28 日に、新型コロナウイルス感染防止を念頭に置いた災害時の避難所運営方針がまとめられた。

今後の避難所の在り方についても感染症対策を含めたものとならざるを得ないと思う。

感染症対策を含めた今後の避難所運営を聞きたい。

答 避難所の運営については、受付時に検温と感染評価シートによる問診を行い、発熱などの症状がある方と一般の避難者では、避難スペースやトイレを完全に分けて受け入れるようにする。

避難者には必ずマスクを着用していただき、段ボールベッドや間仕切りを活用して避難者間の距離が密接にならないようにするとともに、定期的な換気や消毒を実施したい。

再発言 今後は、ハザードマップを活用した防災訓練や避難経路の確認、確保なども必要になってくると思う。

市民の安全・安心、生命と財産、生活を守る取組と、感染症対策を含めた今後の防災計画や避難所機能強化に向けた対応、対策を図られたい。



(避難所設置訓練の様子)

代表質問

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります

誰もが安心して暮らせるまちづくりを



動画視聴



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

本市における新型コロナウイルス感染症への対応

問 新型コロナウイルス感染症対策の取組状況は。

答 大牟田市健康危機管理対策本部を設置し、感染拡大防止策を講じている。

問 市内外の企業、団体、個人の方からの本市への医療物資の寄贈状況は。

答 マスク約9万枚、消毒用アルコール72リットル、次亜鉛素酸水1,100リットルなどを寄贈いただき、介護事業所、障害福祉事業所や医療機関等へ配付している。

再発言 多くの方々からの寄贈に対し感謝を申し上げる。

問 発熱・せき・喉の痛み等の症状がある場合の相談対応とPCR検査体制は。

答 熱やせきの症状がある場合は、かかりつけ医に電話相談し、妊婦や持病等の重症化リスクのある方は、保健所の相談センターに相談いただきたい。PCR検査は帰国者・接触者外来で行うものと、地域外来検査センターで行うものの2通りがある。

再発言 市民の不安解消や相

談者に寄り添いながら体制強化し、感染の疑いがある際には早急なPCR検査ができる体制を。

問 新型コロナウイルスが終息しない中

での避難所や市民の備えは。

答 感染予防として、人の密集を回避するため、多くの避難所の提供など行う。備えについては、6月15日号の広報おおむたに特集を掲載する。

再発言 避難所における感染予防対策と感染予防事項等を市民に周知徹底されたい。

問 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市民生活の実態や約5,400の市内事業者の実態を調査すべきでは。

答 商工会議所等の関係機関・関係団体と連携し、今後も調査を行っていききたい。

再発言 実態を調査し、国・県の支援が届かない部分への市独自支援策に生かされたい。

問 特別定額給付金の状況は。

答 既に全体の9割以上の約5万2千件が申請され、約44%の給付が完了している。

再発言 特別定額給付金は市民に希望と安心を与えるものであってほしい。誰一人取り残すことなく無事故の取組を。

問 本市の介護・障害者施設への感染症対策の支援状況は。

答 5月に不織布マスク約50万枚、消毒液約450本を全ての事業所に配付している。

再発言 介護施設等の関係者が安全に業務に従事され、利用者が安心してサービスを利用できるよう支援の強化を。

問 学校の臨時休業と学校再開後の取組と課題は。

答 様々な学習支援や再開時の生活リズムを整えるよう支援を行っている。また、国や教育委員会からの通知及びガイドラインにのっとったマニュアルを作成し、安心して学校生活ができるよう努めている。課題は、梅雨や暑さなどを踏まえたコロナ対策がある。

再発言 中学校はミストシャワーが未設置のため、設置を。また、GIGAスクール構想などにより多様な子どもたちを誰一人取り残さない取組を。



問 市庁舎整備の考え方については、新型コロナウイルス禍により、価値観や社会常識を根本から見直す必要があることから、再検討すべきでは。

答 今後、感染症対策上必要なスペースやICT機能の部分を併せて考える必要がある。

問 新型コロナウイルス感染症による財政悪化が見込まれる中、市民や経済への影響は。

答 感染予防と経済社会活動の両立で、これまでと違う形で影響が出てくると考える。

再発言 市民生活支援のため、各種事業を見直すなど対応を。

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります 一般質問



行財政改革の必要性の認識

問 厳しい財政状況である本市だが、市長の中での行財政改革の位置づけと1期目での目標があれば聞きたい。

答 地域を取り巻く環境が絶えず変化する中で、時代背景や住民ニーズを適切に捉えてまちづくりを推進するため、継続的に行財政の構造を変革することが目的だと考える。簡素で効率的かつ安定した行政運営を継続的に進めていくためにも、A I・I C Tの活用も含め取り組んでいきたい。

地域経済崩壊を防ぐための支援策

問 地域内での投資や消費を落ち込ませないための手だて

が必要だが、地域経済を守る経済支援の今後の在り方は。

答 感染拡大防止を行いながら、地域経済の下支えとなるよう消費喚起を行いたい。

問 働き方をはじめ、事業環境が変化する中での新たな事業展開を図る企業に対する支援についての考えは。

答 地域活性化センターや商工会議所と連携し、国・県の支援策の活用を促しながら、I Tを活用した事業環境整備や販売拡大の取組を支援する。



コロナ禍、長期休校の影響と学校再開後の課題への支援は

問 長期休校による子どもへの影響と今後の支援は。

答 児童生徒の心理面に様々な影響していると考えられ、

教職員、専門スタッフが連携し、心のケアを徹底している。

問 学校の消毒作業はどのように行われているか。

答 子どもの登校前、下校後に全職員挙げて行っている。消毒のための作業員を緊急雇用として募集している。

再発言 スピード感をもって取り組んでいただきたい。

問 教室の中でのソーシャルディスタンスは可能なのか。

答 各学校では、学習内容、目的に応じて、様々な苦勞をして行ってもらっている。

問 学習の遅れを全部取り戻すのは大変なことだと思う。

市独自の学力テストやイベントは中止してはどうか。

答 従前でない形でほかの方法でできないか検討している。

種苗法の改正は何のため

問 今国会での採決が見送られた種苗法改正案、消費者も学ぶ機会をつくるべきでは。

答 関係団体とも連携して農業者等へ周知し安心して営農できる環境づくりに努めたい。



生命を守るまちづくり

問 子宮頸がんワクチンは公費負担の定期接種であり、補助対象の最終年齢者に対して個別通知で知らせる必要があ

ると考えるが、見解は。

答 予防接種するかどうかの選択肢を確実に提供する事が重要であるという観点に立ち、積極的勧奨ではないと明示した上で、個別の通知により子宮頸がんワクチンに関する情報を正しく伝えていきたい。

SDGsの目標16 “平和”を実現するための “平和の心を育む平和教育”

問 本市在住だった故中村哲氏が世界平和の実現のために具体的に行動された事実を市民、特に若い世代に伝えてい

くべきと考えるが、見解は。

答 大牟田ペシャワール会等と相談し、今後も中村様の功績を紹介する機会を検討する。

学校教育における I C T 化の整備

問 新型コロナウイルス感染第2波に備え、I C Tを活用した学習プログラムを組む必要があると考えるが、見解は。

答 学習のツールの一つとしてタブレット端末を効果的に活用し、子どもたちの学習の個別化、最適化を目指したい。

一般質問

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります



若者の地元定着は最重要の課題、人口ビジョンにおける人口減少対策

問 第2期人口ビジョンでは「若年層そのものの数を増やさないと、出生数の増加、ひいては自然動態の改善へと結

びつかない」と結論づけている中で、高校生のための就職ガイダンスでのUターン者の講演を高校側が拒否していると聞くが、市長自ら県の教育委員会や私学関連組織に出向き実社会経験者の講演を訴えるべきである。積極的な要請の働きかけをお願いしたい。

答 Uターン者の講演については、これから就職しようとする生徒に対して、戻ってくることを前提としたUターンに関する内容は慎重に考えるべきだという意見もある。引

き続き協議していきたい。

再発言 選択できる情報をより多く当事者に提供することが一番重要である。

若者が出て行ってしまえば高校側も困るし、地元学生のパイがどんどん減ってなくなる。Uターンは悪いことではない。企業情報も含め、生徒なりに把握し決定する。

国も一極集中を懸念し、地方分散を期待して地方創生を推進している中、公的機関がこれを拒否するのではなく、市長自ら取り組んでほしい。



土地の有効活用

問 土地利用の規制について、撤廃や緩和ができないか。

答 線引き制度は継続するが、地域の特性に応じてきめ細や

かなまちづくりを行う場合には、必要に応じた規制や緩和を行いながら良好な都市環境の維持や形成を図る。

再発言 地区計画制度をはじめ、活用できる制度を取り入れ、地域の特性に対応した有効的な土地利用計画や整備を行ってほしい。

新型コロナウイルス感染症対策

問 災害時の避難所の対応は。

答 昨年度よりも早めの開設、避難所の増設、避難者が少な

い避難所への誘導など、避難者の分散を図っていく。また、2次的避難所として車中泊用の駐車場や民間施設活用を協議し確保に努めているところ。

問 避難所の状況等の周知は。

答 これまでどおりの周知方法に加え、FMたんと連携し、情報を小まめに発信する。

再発言 感染予防を気にし過ぎて、避難者を受け入れない事のないようにされたい。

避難所運営に地域の協力は不可欠であり、考え方を共有し連携して取り組まれない。



水道料金収入の減少と水道施設の急速な老朽化・耐震化の課題解決に向けて

問 今後の懸念材料を踏まえた上での老朽更新事業計画及びその事業費の財源見通しは。

答 老朽更新事業には、多額

の費用も想定されることから、事業費の財源は国の補助事業などを積極的に活用したい。

問 鉛製給水管布設替え計画の策定状況、この計画に基づく鉛製給水管の早期解消に向けた対策事業の進捗状況、今後の布設替えスケジュールは。

答 2015年度から5年間で約1,900件の布設替えを行っているが、今後は布設替えにより力を入れていく必要があることから、老朽管更新計画の見直しや経営戦略の策定と併せて鉛製給水管の更新計画を

今年度に策定する予定。

下水道施設の急速な老朽化と人口減少に伴う厳しい経営環境の課題解決に向けて

問 市の下水道使用料は県内4番目の高さとなっている。コスト削減・使用料収入増に向けた取組及び経営比較分析表の経営指標の一つである経費回収率の今後の見通しは。

答 収入増に向け、下水道に接続していただくための水洗化の促進に力を入れていきたい。今後も経費回収率100%以上の維持に努めていきたい。

写真のマスクについては基本的には着用とし熱中症予防のため外すときがあります 一般質問



誰一人取り残さない支援を

問 市内経済や市民生活への新型コロナウイルスの影響は。

答 事業者の経営環境は非常に厳しく、宿泊業・飲食業・

小売業・建設業への影響が大きい。徐々に経済活動は再開されているが、5月末の聞き取り調査では依然厳しい状況。

再発言 様々な支援策を確実に申請に結びつけることが大切。また、特別定額給付金についても制度の周知と同時に申請手続の援助を求める。

動物園の入園料値上げの議論は今するべきではない

問 入園料改定案では大人が500円、小人が100円となっているが、なぜ今回、入園料の

値上げをするのか。

答 駐車場・休息スペース・トイレ等の整備など動物園の機能強化事業に取り組んでおり、ともだちや絵本美術館の整備により来園者の利便性が高まると考える。また、来園者の約8割は市外からの来訪である。来園者に一定の御負担をお願いする。

再発言 新型コロナウイルスの影響もあり、これから動物園の将来ビジョンをつくっていく中で、今の段階で値上げの議論をするべきではない。



シティプロモーション

問 シティプロモーション戦略見直しの進捗状況は。

答 これまでの取組から見えてきた成果や課題を踏まえて、

必要な部分について見直しを図るため、現在市内在住の若者や子育て世代を中心に意識調査を行っているところ。

問 市長自ら情報発信することが強力なシティプロモーションになると思うが、SNS活用の可能性は。

答 市政の確かな情報をより分かりやすく伝えるために、様々な市の公式媒体を活用し、できるだけ時機を捉えたメッセージを発信していきたい。

再発言 議会報告会で、市長にSNSで情報発信してほしい

いと市民の声もあるため、ぜひ検討してもらいたい。

有害鳥獣対策

問 イノシシの駆除はどのように実施されているか。

答 農業者の方の被害防除への取組に対する支援や大牟田猟友会への駆除委託により、個体数の調整を実施している。

再発言 個体の捕獲だけでなく、耕作放棄地の増加抑制など、多面的に対策を講じるよう要望する。

議会改革度ランキング3年連続県内トップ! トピックス

議会改革度ランキングとは

早稲田大学マニフェスト研究所が全国の地方議会への調査を基に、「情報共有」、「住民参加」、「機能強化」の重点3分野と、情報の質や受け取る時間を含めた「共有度」を今回新しく評価軸に加え、それぞれの取組を評価し点数化した順位を発表しているものです。

今回の調査には全国 1,788 議会（回答率 80%）が回答し、大牟田市議会は全国で 88 位、九州・沖縄地区6位、福岡県内では3年連続の1位となりました。

大牟田市議会の取組など

大牟田市議会では、以前からのパソコンによる本

会議の様子の視聴だけでなく、令和元年度からはスマートフォンやタブレットからも視聴できるよう改善しました。さらに、令和元年 11 月の市議会だよりから、質疑質問で登壇した議員の映像配信へリンクするQRコードを掲載しています。市民がより手軽に本会議を視聴できる環境整備を行い、アクセス数も伸びています。

今回の調査では、取組の具体性や質などを問う設問が大幅に見直された結果、前回の順位と今回では、上位において大幅に入れ替わるものになりました。

そのような中、今回も上位の評価を受けたことは、大牟田市議会が大牟田市議会基本条例を制定して10年間の取組が、一定の評価を得たものと受け取っています。今後も議会機能の充実と強化を図り、市民福祉の向上に取り組んでいきます。

おおむた自慢

災害やコロナに負けるな、おおむたっ子

～応援の緑がいっぱい～

新型コロナウイルスの感染防止のために、3か月近くの学校休業を余儀なくされた子どもたち。学校再開に喜んだのもつかの間、7月の豪雨災害では学校から帰宅できなくなったり、学用品が水に浸かった子どもたちもいます。これまで経験したことのない不安・ストレスを抱えたことでしょう。厳しい状況ですが力を合わせ、子どもたちの学びを保障し、成長を見守っていきましょう。

今回は、緑をテーマに、子どもたちの学びを支える方々に注目してみました。

花でつながるあたたかいまちづくり (大正小)

SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」への取組の一環として「大正フラワータウンプロジェクト」を進めています。

地域の皆さんと力を合わせて花を育て、フラワーフェスティバルを開催。子ども花屋を行い感謝の気持ちを伝えました。



子どもたちの登校を待ちわびて (明治小)

1年生が取り組むエネルギー環境教育の一環です。例年、市の緑のカーテンコンテストに応募しています。今年は、学校再開が遅れたので、子どもたちを待ちわびた教職員で苗植えをしました。学校再開後、1年生が熱心にお世話をしています。



秋の収穫を楽しみに 田植え (上内小)

6月29日、今年も5、6年生が田植えを行いました。



総合的な学習の時間、SDGsの一環です。

秋の収穫祭で指導いただいた地域の皆さんと共に食べ、販売もして、交流する気仙沼市に義援金として送ります。

元気に 大きくな～れ！ (白川小)



緑のカーテンを目指しています。今年は、学校再開後の6月に植えたので、まだまだ小さいです。雨の合間をぬって、7月13日、4年生が熱心にお世話しました。

校庭の草取り・樹木の剪定作業 (吉野小)

市内退職小学校長会による学習支援活動の一環です。6月22日、暑い中、18名のメンバーが吉野小学校に集まり作業しました。ほかにも、水泳指導やミシンの点検、門松づくり等、10数年来の取組で、子どもたちの学習を応援しています。



緑のカーテンコンテスト

ゴーヤやアサガオなどの植物をカーテンのように育てると、夏の日差しを和らげ、節電にもなります。花や緑を楽しみながら涼しい夏を過ごし、コンテストへ応募しませんか。応募締切 9月30日(水)



■問合せ 環境保全課 TEL 0944-41-2721

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活は一変しました。1日も早くこの事態が収束することを願って第213号の議会だよりの編集に取り掛かりましたが、さらに令和2年7月豪雨により大牟田市も甚大な被害を受け心が痛みます。被災されました方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興のため議会としても取り組んでまいります。(R)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所